

各位

「営業店長と考える伴走支援活動モデル構築研究会」を開催しました

～地域事業者の経営環境変化への迅速・柔軟な対応を支援します～

萩山口信用金庫(理事長・梶山 一生)は、当金庫営業店長を対象として、下記要領により「営業店長と考える伴走支援^{※1}活動モデル構築研究会」を開催しました。

本研究会は、コロナ禍や原油価格・物価高騰の影響を受けた地域事業者の経営環境の変化への迅速・柔軟な体制構築を支援することを目指し、当金庫の3か年計画「伴走支援力の発揮と変革への挑戦」に掲げた「取引先に寄り添った伴走支援の取組み継続」の体制強化として、全店の営業店長が一堂に会して“伴走支援”について意見を出し合い、当金庫の実態に即した活動モデルについて考えました。

全3日間の構成で行われ、伴走支援についての「共通理解」・「実用化」・「動機付け」について協議を重ね、最終日には中小企業診断士の阪本和幸氏をお招きし、「伴走支援モデルの実践について」と題して伴走支援を実践した経緯や取組み姿勢などについてご講話いただきました。

萩山口信用金庫は、このような活動を通じ、地域金融機関として、豊かで活力のある地域社会づくりに貢献していきます。

※1 伴走支援とは

経営者等との「対話と傾聴」を通じて、事業者の「本質的課題」に対する経営者の「気づき・腹落ち」を促すことにより「内発的動機づけ」を行い、事業者の「能動的行動・潜在力」を引き出し、事業者の「自己変革・自走化」を目指す支援方法を言います。(令和5年6月 中小企業庁経営力再構築伴走支援ガイドラインより抜粋)

開催概要

- 名称 「営業店長と考える伴走支援活動モデル構築研究会」
- 日時 令和5年6月13日(火)、20日(水)、30日(金) <3回コース> 14:30～17:30
- 場所 萩山口信用金庫本店4階講堂
※30日(金)のみ、山口グランドホテル3階「未広」
- 対象者 各営業店長および関係課長
- 目的 伴走支援の強化により金庫の支援機能や付加価値の向上を図る
また、金庫内の共通価値を創造し職員の連帯感の醸成を図る
- プログラム

1日目 「共通理解」	・金融行政の変遷、金融機関と中小企業の経営環境 ・伴走支援の必要性とその機能について	講義 ワークショップ
2日目 「実用化」	・伴走支援のフロー図作成 ・伴走支援に係る日常的な課題と解決策	ワークショップ ワークショップ
3日目 「動機付け」	・対話を重視した活動 ・伴走支援モデルの実践について	講義 講演 講師:阪本中小企業診断士

※上記プログラムは一部抜粋したものです。

当日の様子



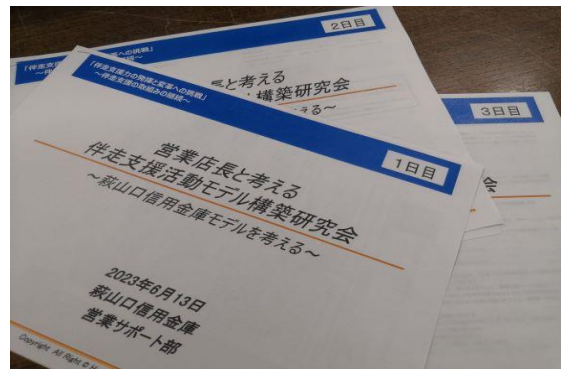
1日目「共通理解」グループワーク



2日目「実用化」グループワーク



3日目「動機付け」阪本中小企業診断士による講演



研究会資料

《本件に関するお問合せ》

萩山口信用金庫 営業サポート部 営業三課 TEL:083-902-2731
